ボーリング柱状図

調　査　名　平成16年度標津断層帯調査業務委託

ボーリング№　1 0

事業・工事名　平成16年度地震関係基礎調査交付金事業

シート№　1

ボーリング名	S04-Mu-4	**調査位置**	標津郡中標津町字北武佐			**北緯**	43° 38' 40.7"
発注機関	北海道立地質研究所　地域地質部			**調査期間**	平成 16年 10月 18日 ～ 16年 10月 21日	**東経**	144° 55' 12.5"
調査業者名	サンコーコンサルタント株式会社　札幌支店 電話（011-837-5537）	**主任技師**	田邊　謹也	**現場代理人**	越谷　賢	**コア鑑定者**	越谷　賢	**ボーリング責任者**	辻川　信夫
孔口標高	176.70m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90° 10°	**使用機種**	
総掘進長	25.00m					**試錐機**	利根TDC-1G	**ハンマー落下用具**	トンビ
						エンジン	ヤンマーNFD-13	**ポンプ**	丸山903

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	176.59	0.11	0.11						
	176.00	0.59	0.70		表土	褐黒			草根・橙色軽石混在。
1	175.66	0.34	1.04		腐植土	褐黒			上部は砂質。0.38m付近軽石多含(Km-1f?)。
	175.47	0.19	1.23		軽石混り火山灰質砂	黄褐～褐灰			葉理が発達する細粒～中粒砂。下位との境界はシャープ。
	175.17	0.30	1.53		腐植土	褐黒			橙色軽石散在。草根混じる。
2	174.26	0.91	2.44		火山灰質シルト質砂	暗灰褐			全体に円磨された橙色軽石を含む。上位層へ漸移。
	173.66	0.60	3.04		軽石	橙褐			径5～30mmの軽石が主体。(Ma-1)
3	173.30	0.36	3.40		ローム質粘性土	暗褐～褐			弱く葉理が発達する。全体に木片・細礫が散在する。
4					シルト質砂礫	灰褐			安山岩の亜角～角礫主体。上位層との境界は漸移的。
5					含礫凝灰質砂岩	褐灰～黄灰			中粒～粗粒砂主体で、軽石・安山岩の円～亜角礫を混在する。上部に向かい礫の含有率が増加し粗粒になる。上部は比較的不淘汰。下部は所々葉理が発達し、凝灰質シルト岩の薄層が数層挟在する。
6									
7									
8									
9	167.59	5.71	9.11						
10					砂質シルト・シルト質砂互層	明褐灰～明灰			全体に葉理が発達し、所々中～極粗粒砂の薄層が挟在する。層理面の傾斜は5°程度以下。5～50cm単位で互層する。
11	165.38	2.21	11.32						
12	164.35	1.03	12.35		シルト質砂岩	灰～褐灰			葉理が弱く発達する極細粒砂主体。鉛直方向に延びる砂岩脈が認められる。
13	163.22	1.13	13.48		凝灰質礫岩	灰褐～褐灰			全体的に塊状の亜角～角礫が主体。基質は凝灰質細～中粒砂。礫種は軽石・安山岩。12.54～12.81m:礫凝灰質砂岩が挟在。12.94m付近に貝化石?を含む。
14	162.60	0.62	14.10		凝灰質シルト質砂岩	明褐灰			塊状で極細粒～細粒砂薄層が挟在。 層理面の傾斜はほぼ水平。
15	161.63	0.97	15.07		凝灰質礫岩	褐灰～明灰			全体に塊状で亜角～亜円礫が主体。基質はシルト質細粒砂。
	161.21	0.42	15.49						
16					凝灰質シルト質砂岩	明灰			弱く葉理が発達し、細粒砂岩の薄層が挟在する。
17					凝灰質礫岩	褐灰～灰褐			塊状で比較的不淘汰な基質支持礫岩。亜角礫を主体とし、基質は凝灰質シルト質砂。礫種は安山岩主体で軽石・デイサイト・玄武岩・凝灰岩礫を含む。
18									
19	157.46	3.75	19.24						
20					凝灰質砂岩	褐灰			全体に葉理が発達し、比較的淘汰が良い中粒～粗粒砂が主体。軽石・安山岩の細礫が散在する。 中～下部は凝灰質シルト岩の薄層が数層挟在する。
21									
22	153.89	3.57	22.81						
23					凝灰質シルト質砂岩	橙褐			塊状だが所々葉理が弱く発達する。全体に軽石・安山岩・玄武岩の礫が散在する。 23.38～23.70m:凝灰質砂岩挟在。
24	152.00	1.89	24.70						
25	151.70	0.30	25.00		凝灰質砂岩	灰			細～極細粒砂。弱く葉理が発達し軽石・安山岩・玄武岩礫を含む。

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
10/18 3.95									2.71 2.84 Mu-4-2.71				10/18
									3.01 3.05 Mu-4-3.01				
									7.90 8.04 Mu-4-7.90				
													10/19
													10/20